

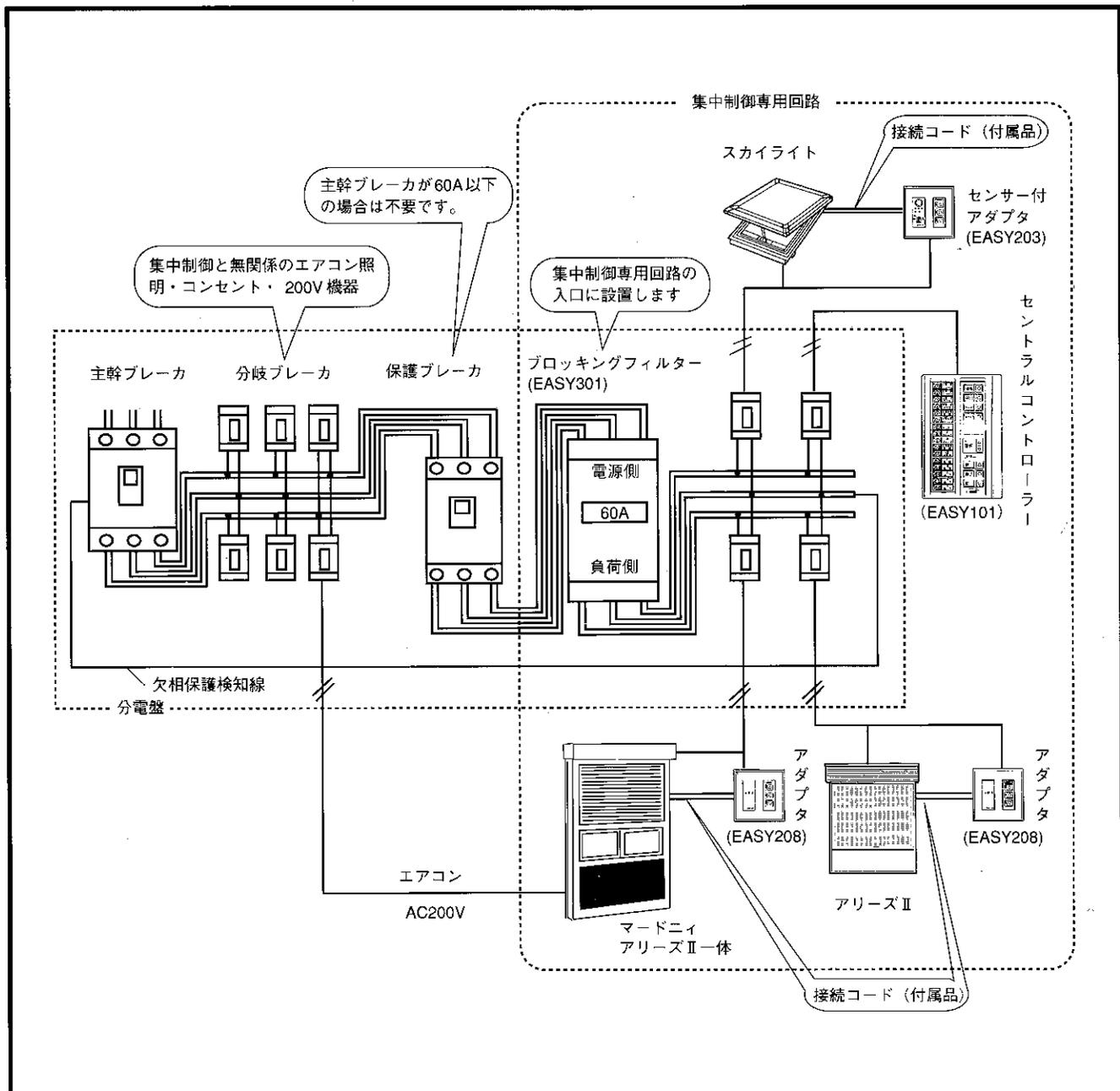
分電盤の設計

通信の確実性を高めるため、ブロッキングフィルターを組み込んだ分電盤の設計をする際に必ずお読みください。

設計のポイント

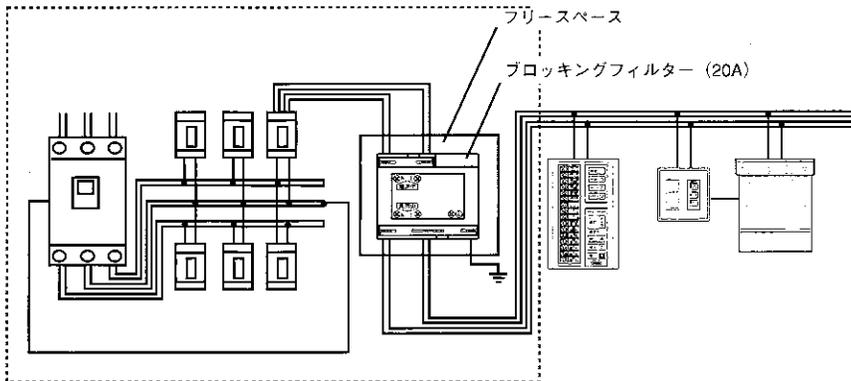
一般家庭で使用する電気製品には、セントラルコントローラーとアダプタ間の通信を妨害するノイズを発生したり、制御信号を減衰（吸収）してしまう機器があり、それらの影響を受け、アリーズII・スカイライトが正常に作動しない場合があります。このような障害を避けるために、ブロッキングフィルターを設置してアリーズII・スカイライトの集中制御専用回路にしてください。

集中制御専用回路を構成する場合

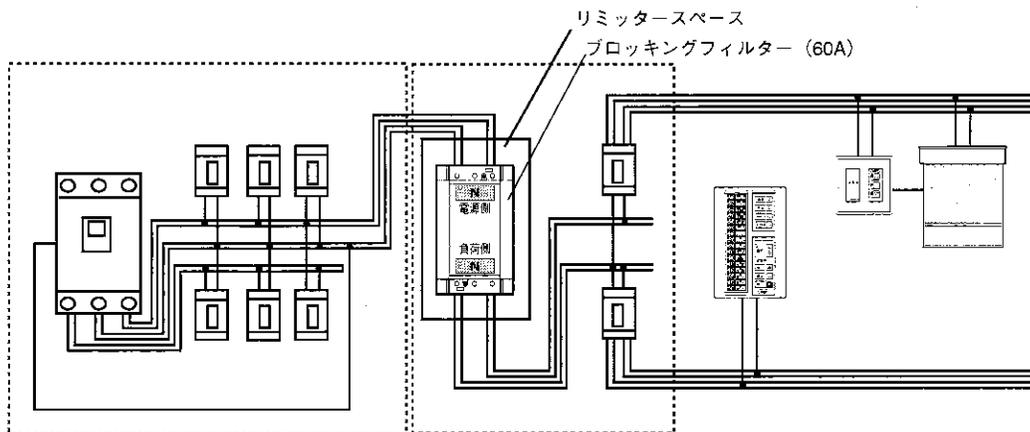


システムの規模による設計例

①小規模（専用回路の電気容量が分岐ブレーカの定格以下）の場合

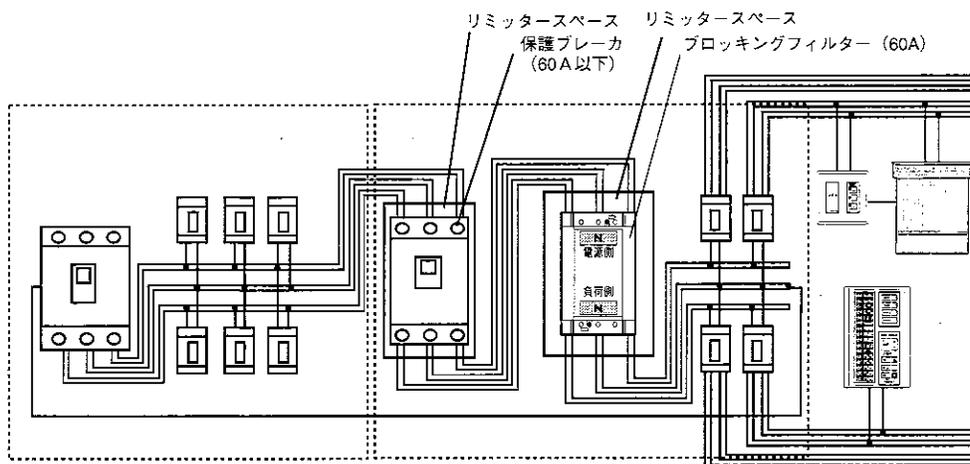


②中規模（主幹ブレーカが60 A以下）の場合



③大規模（主幹ブレーカが60 A超）の場合

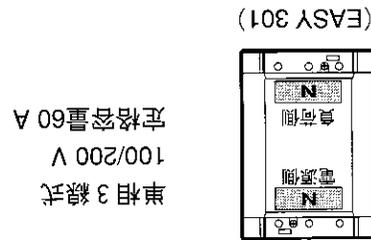
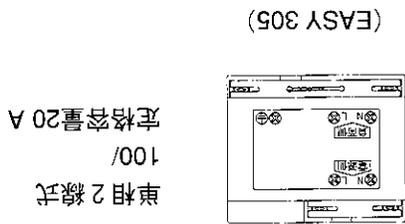
☞ 専用回路の電気容量が60A以上120A以内の場合単相3線にして各相60A以内になるようにしてください。



上記分電盤は便直上、松下電工製の一部を記入しています。
 分電盤の容量に応じて別途選定してください。また、同等部品であれば工事に支障ありません。

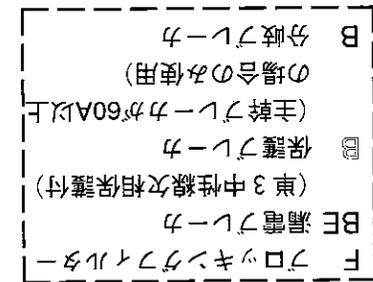
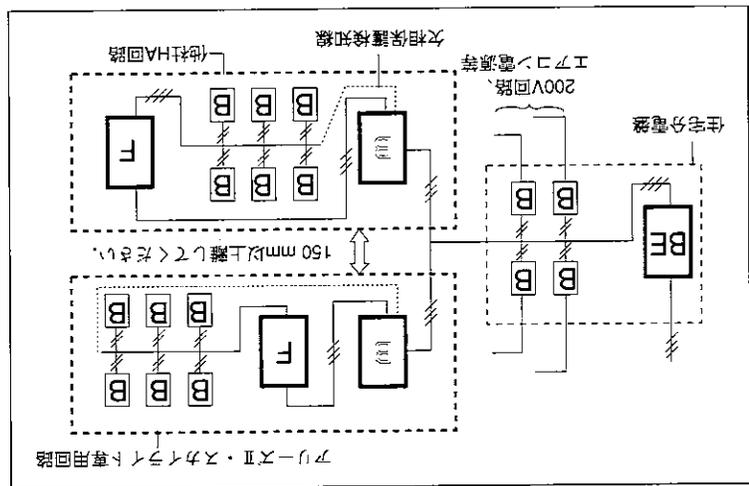
小規模	BQ43506WK
中規模	BQ636084WK + BQ63006WK
大規模	BQ407144WK + BQ63006WK

フリースペース付分電盤 (小規模集中制御の場合)

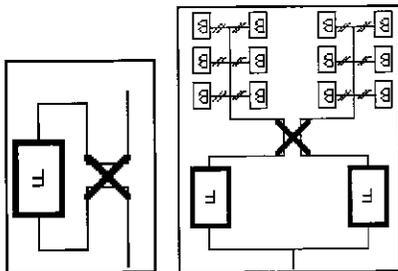


フロッピングアルター

弊社集中制御を上図のように分離システム方式にした場合は、各系統間の集中制御はできません。



電線の配線を近づけ過ぎないようにしてください。



他社HAシステムと併設する場合 (分離システム方式)